

直近の家庭用牛乳製品の販売状況の推移を毎週発信してまいります。

お知らせ:次回配信日は5月2日(金)となります

発行:一般社団法人Jミルク生産流通グループ

「牛乳類は新年度入りした4月も苦戦、7週連続で前年割れに」

・4/14週の牛乳類の販売個数は、4品目すべて前年水準を下回った。牛乳類の販売個数が前年水準を下回るのは7週連続。内訳を見ると、牛乳は7週連続、成分調整牛乳は15週連続、加工乳は4週連続、乳飲料は41週連続の前年割れとなる。例年であれば気温の上昇とともに販売個数が増加する時期に入るが、今年度は依然として厳しい状況が続いている。

・牛乳消費が伸び悩んでいる背景には、主食のコメの価格上昇と堅調な消費が影響している可能性がある。農水省が公表した資料によれば、4/7週のスーパーでのコメの販売価格は15週連続で値上がりしており、前年同期比は203.0%となっている。一方、販売数量も前年同期比109.8%と増加傾向にあり、価格上昇にもかかわらず消費が落ち込んでいない状況が伺える。このようにコメの高騰と消費の維持により、結果的に家計への負担が増加し、牛乳類を含む他の飲食料品の消費が抑制されている可能性がある。

・北海道では、生乳生産量が前年を上回る水準で推移している。一方で、家庭における牛乳消費は伸び悩み、生乳需給の緩和傾向が継続している。月末のゴールデンウィーク期間中には、学校給食用牛乳の供給が一時停止するため、関係者内外が連携し、牛乳の積極的な需要喚起と円滑な処理に向けた対応に取り組むことが重要となる。

・はっ酵乳の3品目の合計販売個数は3週連続で前年水準を下回った。内訳を見ると、ドリンクタイプと個食タイプが前年割れとなった一方で、大容量タイプは、33週連続で前年水準を上回っている。

・家庭用バターの販売単価は、2/10週に昨年度の最高水準に達した後、価格は安定と小幅な変動を繰り返している。こうした中で、販売個数はほぼ前年並みで推移している。

「参考」消費拡大運動 JミルクHPリンク先↓↓

「土日ミルク」 <https://www.j-milk.jp/news/satsunmilk.html>
 「牛乳でスマイルプロジェクト」 <https://www.j-milk.jp/news/h4ogb4000009gbz.html>

10月2日に「改訂版・戦略ビジョン」を策定・公表しました
 資料ダウンロードは下記URLより
<https://www.j-milk.jp/news/strategicvision202410.html>

【牛乳類の販売速報(推定値):インテージSRI+】

(1)直近動向(表①参照)

・直近(4/14週)の販売個数(前年同期比)は、牛乳:97.1%、成分調整牛乳:94.9%、加工乳:96.1%、乳飲料:92.9%。

牛乳類トータルでは同96.3%

※参考:2019年度比(コロナ禍以前)の牛乳類トータルの販売個数は87.5%。

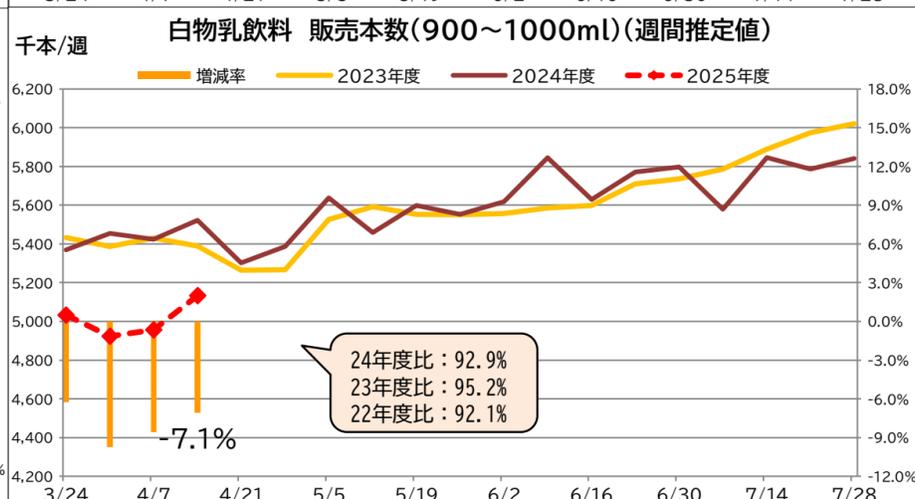
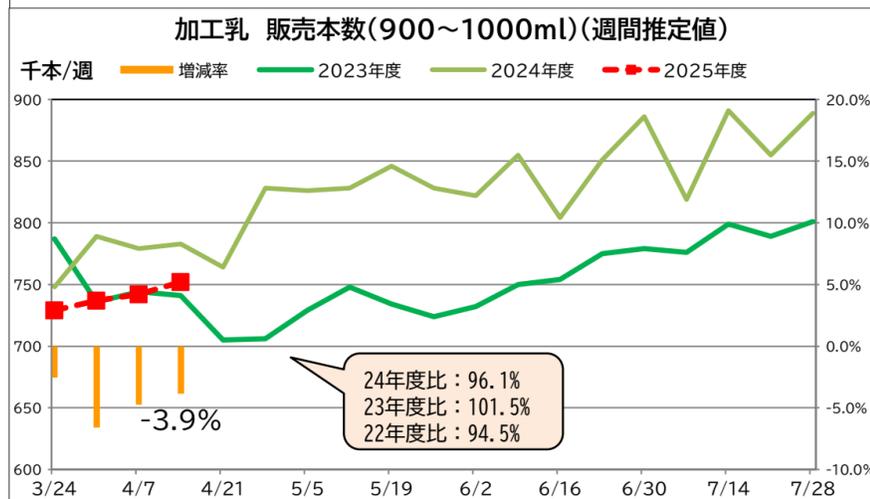
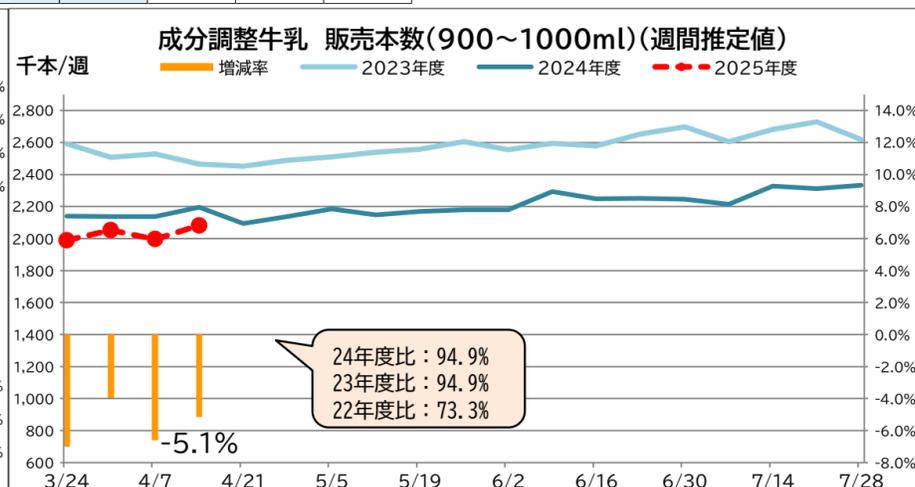
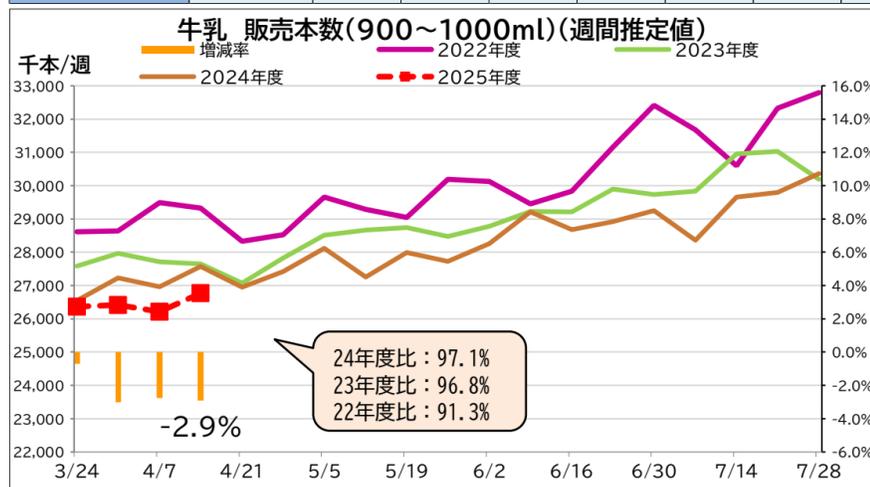
・販売単価は、牛乳:224.6円、成分調整牛乳205.3円、加工乳:218.5円、乳飲料:173.4円。

※出典 (株)インテージSRI+週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

【表① 直近の牛乳類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(単位:千個、円)

品目	区分	2.24-	3.3-	3.10-	3.17-	3.24-	3.31-	4.7-	4.14-	25.4.14- 22.10.24 価格差	25.4.14- 23.3.20 価格差	25.4.14- 23.7.24 価格差
		販売個数	34,446	32,731	33,084	33,454	34,119	34,131	33,910	34,736		
トータル	販売個数前年比	100.4	97.0	96.9	98.0	98.0	95.8	96.1	96.3	32.5	17.6	15.2
	販売単価	215.4	215.9	215.4	215.7	215.6	215.8	216.0	215.7			
牛乳	販売個数	26,606	25,227	25,483	25,825	26,368	26,418	26,214	26,769			
	販売個数前年比	101.4	98.1	97.7	98.8	99.3	97.0	97.2	97.1	34.3	18.0	16.8
成分調整牛乳	販売個数	2,086	1,967	1,988	1,972	1,989	2,053	1,996	2,083			
	販売個数前年比	99.2	94.3	94.2	94.5	93.0	96.1	93.4	94.9	31.6	16.7	12.1
加工乳	販売個数	739	704	707	741	729	737	742	752			
	販売個数前年比	102.4	98.8	98.3	100.8	97.6	93.4	95.3	96.1	27.6	17.3	6.7
乳飲料	販売個数	5,015	4,833	4,905	4,916	5,032	4,923	4,957	5,132			
	販売個数前年比	95.5	92.4	93.6	94.9	93.7	90.3	91.4	92.9	23.7	13.9	9.2
	販売単価	172.9	173.3	173.2	173.2	172.7	173.6	173.7	173.4			



【ヨーグルト類の販売速報(推定値):インテージSRI+】

(1)直近の動向(表②参照)

直近(4/14週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90~250ml):前年同期比90%以上、個食タイプ(70~130ml):同90%以上、大容量タイプ(350~500ml):同105%以上(3品目合計販売個数は前年同期比90%以上)。

(2)前週(4/7)との比較では、ドリンクタイプと個食タイプは増加した一方、大容量タイプは減少した。

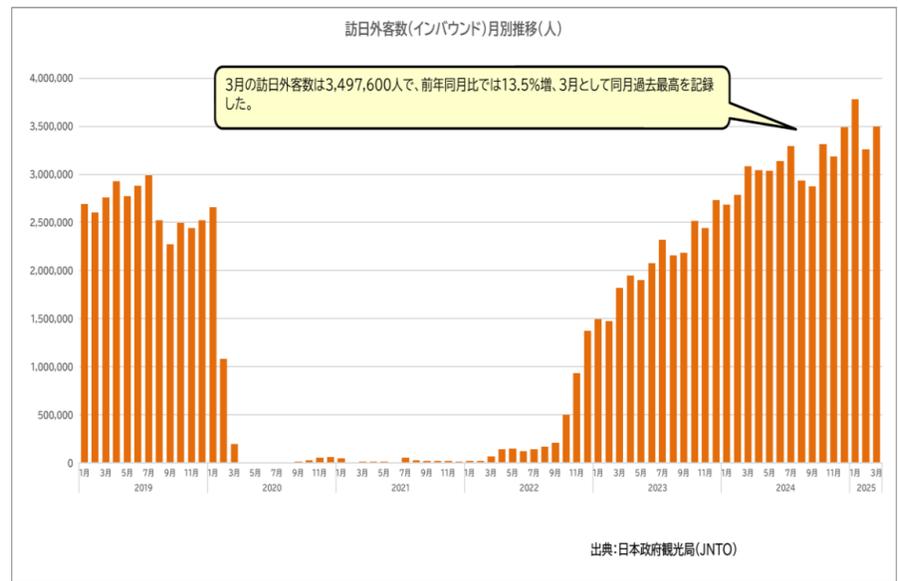
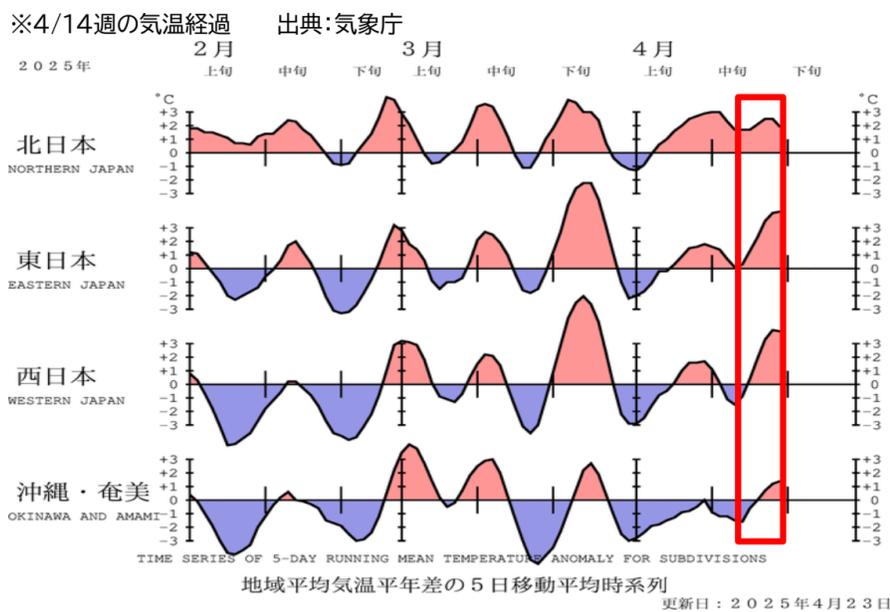
※出典 (株)インテージSRI+週データ。販売個数については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

【表② 直近のヨーグルト類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

品目	2.24-	3.3-	3.10-	3.17-	3.24-	3.31-	4.7-	4.14-
ドリンクタイプ	↓	↘	↘	↘	→	↘	→	↘
個食タイプ	→	↘	↘	→	↘	↘	↘	↘
大容量タイプ	↓	→	↗	↗	↗	→	→	↗

- ↓ : 前年比90%未満
- ↘ : 前年比90%以上100%未満
- : 前年比100%以上105%未満
- ↗ : 前年比105%以上110%未満
- ↑ : 前年比110%以上120%未満
- ↗ (赤) : 前年比120%以上

※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。



※「2024年度生乳需要基盤確保事業 独立行政法人農畜産業振興機構 後援」